



1934年11月29日の明治神宮外苑競技場、ブラズバンドの演奏に英騎の応援と約2万人の観客の歓声で競技場はつぎやみで埋められていた。この日、明治大学・早稲田大学・立教大学の東洋学生連盟と横浜YACによる日本で最初のアメリカンフットボールの公式戦が開催されたのだ。

この試合は、立教大学のボールラッシュ教授明治大学の松本瀧蔵教授によって実現されたことは有名である。二人はアメフトに必要な防具の準備や試合開催に必要な資金を準備するために日本に住むアメリカ人やイギリス人に募金協力を求めながら対戦相手を探した。

募金活動によって、試合に欠かせない防具の準備に目処が立ち開催日と会場が決まった。対戦相手は横浜にある外国人スポーツクラブ横浜YACが引き受けてくれることになった。日本の大学チームを準備するだけとなった。立教大学ではプレーできる学生がほとんどいなかったためチーム作りが難航。その一方で早稲田大学明治大学はチーム作りが順調に進んだ。

その中でも明治大学は、経験者が多数参加、公式戦前にチーム独自で試合をするなど内容が充実していた。公式戦では、戦力の中核として期待された。なぜ明治大学にこれほどの人材がそろっていたのか。

<松本瀧蔵物語その1>(まつもと たきぞう)(1901~1958)

ー日本にアメリカンフットボールを誕生させた人ー

広島県出身。1930(S5)明治大学商学部卒業、1930年ハーバード大学留学、その後帰国し明治大学教授。1934年東京学生アメリカンフットボール連盟結成にあたり、理事長のボール・ラッシュ氏を助け書記長に就任。審判としても活躍し、日本で最初の試合に先立つ10月25日、明治大vs在日ハワイ二世軍の主審を務める。1942年、帰国したボール・ラッシュ氏の後を継ぎ、第2代の関東学生連盟の理事長に就任。その後、衆議院議員、外務政務次官、内閣官房副長官。2004年(H16)アメリカンフットボール殿堂入り。

<2020年度主務・RB・#36・中田悠太>

今年度、主務に就任させていただきました4年中田悠太です。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態となり、「非日常」という大変な事態となってしまいました。私たち学生も試合が中止になり、練習すらできない状態が長期間続き、とても苦しみました。一方、普段当たり前のよう練習ができている環境がどれだけありがたいものなのか実感する一年となりました。

私も主務という部活を代表する立場として、ここにくるまで様々な障壁がありました。一選手として、また主務という部を代表する立場として双方の立場から考えてみると部員と練習再開のためのルール等を結びつけることは非常に難しく、葛藤する毎日でした。しかしチームでこの困難を乗り越え、試合ももう目前に迫っています。このような状況でも、試合が行われることに感謝し、例年より短いシーズンとなってしまいましたが4年間苦楽を共にした同期と、私たち4年生についてきてくれた後輩達と最後まで戦い抜き必ず結果を出します。最後の試合まで、応援していただくと嬉しいです。よろしくお願い致します。



役職	Po.	番号	学年	名前	出身高校	スポーツ歴	休日の過ごし方
主務	RB	36	4年	中田悠太	明治大学明治	バスケットボール	勉強、父とゴルフ、買い物